

球春

あす開幕

千葉県春季高校野球

第68回春季千葉県高校野球大会の地区予選が16日に終了し、25日開幕の本選組み合わせが発表された。地区予選を勝ち上がったのは、市立柏と柏南、沼南、芝浦工大柏、流経大柏。予選通過枠5つすべてを柏勢が占めた。組み合わせは、表のとおり。



エース小栗が2戦連投で貢献

芝浦工大4年ぶり白星

東葛、西武台千葉を撃破

地区予選突破4年ぶりにしてや、東葛や西武台千葉が、芝浦工大柏だ。初戦で東葛戦を3-1で制すると、強豪の西武台千葉を2-1で下した。3年生たちにとって、公式戦初勝利だった。ま

に、西武台千葉戦は「ベリーグム」。敵陣営からも「ミスがなく、負けたくないいいチームだった」と称えられた。指揮官が「こいつが抑えてくれないとはじまらない」と信頼を寄せ、エース小栗平(3

年)。右上手投げで球速は130キロ。制球力に優れ、西武台千葉戦も「低めに投げ、中と外を丁寧に突いた」と小栗。9回裏に1点を献上したが、自身の三塁線を抜ける先制打と9回表にスクイズで挙げた決勝点で切り抜けた。

9回裏、1点を返さず、小栗は動じず、二飛、一ゴロに仕留めた。「自分たちの野球をやれば勝てる」。最後は自信をもって打者2人を打ち取った。

指揮官も手応えは大きいという。「スクイズを決める小技は、ずっと取り組んできたもの。それに、みんなミスがなかったということもすばらしい。本戦初戦では、市立銚子と激突する。「ここまできたら強いチームしか

ない。いい経験を積みたい」と福田監督。小栗も「全力で戦っただけ。今日のように我慢して、しっかり守りから入りたい。浮かれず、勝利に酔わず。確かな成長の足跡を残し、未踏の真本戦に挑む。

